令和　7　年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	快適で住みやすいまちづくり
施策No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
主管課名	建設課		
関係課名	都市計画課		

10年後の目指す姿	誰もが安全で円滑な通行ができる、快適な道路が整備されています。

施策の現状及び課題	現　状	・国道8号入善黒部バイパスは、渋滞が発生しているため、4車線化の整備促進を働きかけています。また、主要地方道宇奈月大沢野線バイパス等の道路の新設は、早期全線開通が望まれています。 ・日本風景街道に登録された主要地方道魚津生地入善線等のいわゆる蜃気楼ロードは、地域及び団体が情報を共有することにより、道路風景や地域資源を守り・創り・伝えていくことが望まれています。 ・通学路の変更、住宅団地やアパートの増加による生活道路の安全ニーズが変化しており、通学路合同点検結果等を踏まえた整備を行っています。 ・安全で円滑な交通を確保するため、道路補修を行っています。また、冬期間の安全で円滑な交通を確保するため、道路除雪を行っています。
	課　題	・国道8号入善黒部バイパスの4車線化の整備促進の働きかけや、主要地方道宇奈月大沢野線バイパス等の道路新設による安全で快適な広域的道路のネットワーク整備の促進が必要です。 ・住民の安全、暮らしに密着した生活道路は、多様化する住民ニーズを踏まえた整備が必要です。 ・道路施設の老朽化が進み、道路補修に対する要望が多く、早急で適切な維持管理を行う必要があります。また、人口減少や高齢化率が高まる中、除雪体制のより一層の強化を行う必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・安全で快適な広域的道路のネットワークが構築されるよう国・県要望に取り組みます。 ・道路維持、道路拡幅改良及び通学路整備に取り組みます。 ・生活道路の除雪を行い、冬期間の安全で円滑な道路交通の確保に取り組みます。 ・早急で適切な道路補修に取り組みます。
	市　民 ・ 事業所	・身近な道路のゴミ拾いや除草を行い、快適な道路空間づくりに協力します。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬期間の円滑な道路交通の確保に協力します。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	幹線道路の整備
	基本事業②	生活道路の整備
	基本事業③	道路維持管理体制の強化
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	17　(17)	16　(16)	17　(17)	16　(16)	16　(16)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	5　(5)	5　(5)	6　(6)	5　(5)	5　(5)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	3　(3)	2　(2)	2　(2)	2　(2)	2　(2)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	9　(9)	9　(9)	9　(9)	9　(9)	9　(9)	
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費　(事務事業の事業費合計)	千円	794,414	646,370	759,802	831,206	843,407	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	126,217	74,030	112,210	56,365	115,179	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	188,666	196,375	280,081	209,790	155,506	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	479,531	375,965	367,511	565,051	572,722	
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	80	72	73	68	75	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	23,880	23,540	22,740	21,560	22,040	
	E. 人件費　(D×1時間あたりの平均人件費)	千円	93,681	91,241	89,959	88,482	93,736	
	F. トータルコスト　(B+E)	千円	888,095	737,611	849,761	919,688	937,143	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費　(定義式　:　B／人口)	円	19,626	16,192	19,346	21,524	22,192	
	同　上 H. 人件費　(定義式　:　E／人口)	円	2,314	2,286	2,291	2,291	2,466	
	同　上 I. トータルコスト　(定義式　:　F／人口)	円	21,941	18,478	21,637	23,816	24,658	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名		①幹線道路の整備	
基本事業の目的(意図)		市内幹線道路網の骨格となる国道や県道の整備促進を図るとともに、都市計画道の見直しや幹線市道の計画的な整備を進めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【道路関係同盟会事務局事務】 ・富山県に対して、市内県道の未改良区間の整備促進について要望を行いました。 【国道8号バイパス対策事業】 ・国土交通省、国土交通省北陸地方整備局に対して、国道8号入善黒部バイパスの整備促進(4車線化・現道拡幅)について要望を行いました。 【日本風景街道事業】 ・「蜃気楼ロード連絡協議会」の開催、「北陸風景街道交流会議」への参加など、自治体や民間企業との連携や蜃気楼ロードの魅力向上のため、サイクリングコースとしての利用普及拡大やルート周辺の観光資源の周知に努めました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
市内の道路改良率	%	80.8	81.0	81.0	81.1	81.2	81.3	81.4	81.9
				81.0	81.2	81.3	81.3	81.3	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	土木一般管理事業	7,853,000	7,090,627	762,373	0	−	建設課
2	予算なし	道路関係同盟会事務局事務	0	0	0	0	−	建設課
3	一般会計	○ 幹線道路整備事業	152,809,476	107,809,476	45,000,000	45,000,000	A	建設課
4	一般会計	国道8号バイパス対策事業	293,000	254,340	38,660	0	−	建設課
5	予算なし	日本風景街道事業	31,340	24,400	6,940	0	−	建設課
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			160,986,816	115,178,843	45,807,973	45,000,000		

基本事業概要シート②

施策No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名		②生活道路の整備	
基本事業の目的(意図)		通学路の安全、暮らしに密着した生活道路の計画的な整備を進めます。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【市道改良舗装事業、生活道路整理事業】(施策6①再掲) ・住民生活に密着した市道40路線の改良・舗装工事を実施しました。 ・通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。 ・経田北地区のまちづくりにおいて、市道経田中町漁港線の一部の測量設計業務を実施しました。 ・経田南地区のまちづくりにおいて、整備する道路について協議を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
通学路安全対策箇所数	箇所	2	2	3	4	4	5	5	8
				3	3	4	4	4	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 市道改良舗装事業	40,800,000	39,346,307	1,453,693	0	A	建設課
2	一般会計	○ 生活道路整備事業	266,021,776	116,159,789	149,861,987	93,734,592	B	建設課
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			306,821,776	155,506,096	151,315,680	93,734,592		

基本事業概要シート③

施策No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名		③道路維持管理体制の強化	
基本事業の目的(意図)		より効率的な道路パトロールを行い、早急で適切な道路補修を実施します。また、適切かつ持続可能な道路除雪計画を策定し、除雪体制の強化を図ります。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【市道維持補修事業】 ・地元住民などから苦情・要望のあった道路損傷箇所の維持補修を行いました。 【土木災害応急措置事業】 ・既存消雪施設のシーズン前の点検・補修を行いました。 ・民間の除雪作業事業者へリース車両を25台貸与し、除雪体制の確保を図りました。 ・降雪の状況により除雪・排雪作業を適切に指示し、冬期間の道路交通を確保しました。 ・ハンドガイド式ロータリー除雪機(手押し式)を希望する地域振興会等に15台貸与し、狭い市道の除雪体制を強化しました。 ・小型乗用除雪機のオペレーター育成のため、資格取得の環境整備や運転講習会の開催を行いました。 【橋梁点検事業】 ・33橋(全247橋)の近接目視点検等を実施しました。 【消雪施設更新事業】(再掲) ・老朽化が進む消雪施設の更新工事(1箇所)を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
市管理道路の除雪延長	km	260.1	260.4	260.5	260.7	261.0	261.3	261.6	263.1
				261.6	262.2	262.7	262.3	265.5	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○	市道維持補修事業	79,745,000	78,862,956	882,044	0	A	建設課
2	一般会計		道路維持一般管理事業	24,775,000	22,020,215	2,754,785	0	−	建設課
3	一般会計	○	土木災害応急措置事業	479,956,685	444,330,829	35,625,856	0	B	建設課
4	一般会計		道路台帳整備事業	10,520,000	8,018,120	2,501,880	0	−	建設課
5	予算なし		市道認定事務	0	0	0	0	−	建設課
6	予算なし		道路法に関する事務	0	0	0	0	−	建設課
7	一般会計		市道等用地借上事業	799,551	791,354	8,197	0	−	建設課
8	一般会計	○	橋梁点検事業	18,533,700	18,533,700	0	0	A	建設課
9	一般会計		地域ぐるみ除排雪事業	164,500	164,500	0	0	−	建設課
10	一般会計	○	消雪施設更新事業(施策30③再掲)	(13,860,000)	(13,860,000)	(0)	(0)	B	建設課
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				614,494,436	572,721,674	41,772,762	0		

施策No.	31	施策名	快適な道路機能の強化

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①幹線道路の整備】
◆市民は、通勤通学時の慢性的な渋滞の解消、通学路の安全対策や降雪期においても支障なく通行できることを、強く望んでいます。
◆市内の公道（国、県、市道）の道路改良率は、目標値を達成しています。

【②生活道路の整備】
◆「道路現況調査資料（令和7年4月1日）」の公道（国、県、市道）について、魚津市と県内他市を比較すると、改良率は県内10市の内7番目、また、舗装率は県内10市の内5番目となっています。比較的平坦な地形の市において、いずれの率も高い数値になっています。

【③道路維持管理体制の強化】
◆苦情・要望のあった道路補修の実施率は、78.1%となっています。老朽化の進行により、要望は増加するものと思われます。
◆市内の公道（国、県、市道）の道路除雪延長（車道及び歩道）は、令和6年度431.4kmに対し令和7年度434.6kmと3.2km増加しています。市民からは、よりきめ細かな作業実施の要望が多数寄せられています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①幹線道路の整備】
＜道路関係同盟会事務局事務＞
◆幹線道路整備について、国、県へ整備促進の要望を行いました。

【②生活道路の整備】
＜市道改良舗装事業、生活道路整備事業＞
◆住民生活に密着した市道40路線の改良・舗装工事を実施し、利便性の向上と、円滑な道路交通の確保に努めました。
◆通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。
◆経田地区のまちづくりにおいて、経田北地区で市道経田中町漁港線の一部の測量設計業務を実施しました。
◆経田南地区のまちづくりにおいて、整備する道路について協議を行いました。

【③道路維持管理体制の強化】
＜市道維持補修事業＞
◆苦情・要望のあった市道の維持補修について速やかな対応に努め、安全な道路交通の確保に努めました。
＜土木災害応急措置事業＞
◆市では、除雪機械と除雪作業事業者を確保しつつ、約282km（車道265km、歩道17km）の道路除雪を行い、冬期間の円滑な道路交通の確保に努めました。
◆ハンドガイド式ロータリー除雪機（手押し式）を希望する地域振興会等に15台貸与し、狭い市道の除雪体制を強化しました。
◆小型乗用除雪機のオペレーター育成のため、資格取得の環境整備や運転講習会の開催を行いました。
＜橋梁点検事業＞
◆33橋（全247橋）の近接目視点検等を実施し、橋梁に異常がないか確認しました。平成29年度に重篤な損傷が認められた1橋については、引き続き通行止の措置を行いました。
＜消雪施設更新事業＞（再掲）
◆老朽化が進む消雪施設更新工事(1箇所)を行いました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①幹線道路の整備】
◆国道8号入善黒部バイパスの4車線化整備促進について国土交通省へ要望します。
◆県道は、三箇吉島線外3路線で道路改良事業が計画されており、これら路線の整備促進について富山県へ要望します。
◆市道大海寺新27号線や市道吉島10号線などの補助幹線道路について整備を進めます。

【②生活道路の整備】
◆住民生活に密着した市道の改良、舗装工事等を計画的に進めます。
◆通学時の安全対策として、小学校周辺を重点に通学路の整備を行います。
◆通学路合同安全点検を基に危険箇所の対策を行うとともに、各小学校周辺の生活道路対策エリア（5地区）を合わせた、通学路、生活道路の安全対策を重点的に進めます。
◆経田北・南地区のまちづくりについて、地元と協議を行いながら事業を進めます。

【③道路維持管理体制の強化】
◆市道の維持補修の速やかな対応を引き続き行うとともに、除雪機械と除雪作業事業者の実態把握や富山県との連携除雪作業等の協議、地域ぐるみ除排雪事業の推進など、今冬の除雪体制確保に努めます。
◆橋梁点検を行い、適切な管理を行います。（5年サイクル）
◆老朽化している消雪施設の更新工事を行います。
◆道路監視カメラを増設し、除雪時の業務軽減に努めます。
◆県と連携して道路パトロールと路面補修業務を実施し、業務の効率化と維持管理水準の維持に努めます。